



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2020年  
3月2日  
発行

## 第19回

## 「西村証券 若手勉強会報告」

### ～ 格言で学ぶ株式投資～

#### 初めに

以前紹介したように、西村証券では、入社1～2年目の若手社員を対象に定期的な勉強会を行っています。直近の勉強会では株式相場の格言をテーマとして取り上げました。そこで今回のウィークリーレポートも、株式相場の格言(以下、格言)について考えてみます。勉強会では最初に参加者に良いと思われる格言を4つ紹介してもらいました。この4つについて順に説明します。

#### 【常識にとられるな】：「麦わら帽子は冬に買え！」

人と同じことをやっても儲からない、常識にとられるな。という趣旨の格言です。似た格言としては、「人の行く裏に道あり花の山！」などがあります。当勉強会の趣旨は「常識にとられず、自分の頭で考える」なので、まさに当勉強会にふさわしい格言と言えます。

#### 【吠えない犬を見過ごすな】：「閑散に売りなし！」

第10回の当レポート「シャーロック・ホームズと吠えない犬」では、動かないものに注意することの大切さについて述べました。この格言は同様に動かないものの大切さを指摘したものです。自分はリーマン・ショックの際、実際にこの格言が当てはまる状況を経験したことがあります。詳しくは上記のウィークリーレポートを御覧なってください。

#### 【価格にこだわるな】：「買いたい弱気、売りたい強気！」

「株を買おうと思ったが、下がった所で買おうとしている間に、上がってしまった」、という経験はどなたにもあると思います。この格言はそうした市場心理を映したものです。気持ちはわかりますが、安く買うこと以上に大切なのは、値上がりする株を買うことです。これができていれば、多少高いところで買っても取り返すことはできますが、買い逃してしまうと取り返すことはできません。

「頭と尻尾はくれてやれ！」という江戸時代の米相場の格言が教えるように、売買の際には価格よりもその成立を優先させるべきと思います。

#### 長期上昇はいいところまで来たか？

最後は、海外の格言です。「相場は悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観の中で成熟し、幸福感の中で消えていく！」この格言は、相場的一生とでも言うべき流れを簡潔にまとめたもので、株式市場のレジェンドの1人、ジョン・テンプルトン氏の言葉とされています。

この格言を見ていると、リーマン・ショック以降続いている現在の世界的な株式市場の上昇は、いいところまで来た気もしますがいかがでしょうか？

以上で終わらせて頂きますが、勉強会の活動状況については随時ご報告させていただきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。